



IMAGINE
ROTARY

Rotary
RID2780



Rotary International District 2780

ガバナー月信

2023年
最終号 No.13

取り戻そう! 記憶に残る年にしよう!

IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY



第1グループ 宮本清志AG
「公式訪問後ガバナーと」



第2グループ 田中 哲AG
「最終会長幹事会」



第3グループ 永松秀行AG
「藤沢南ディスカバーロータリー衛星クラブ
認証状伝達式 木本会長と」



第4グループ 當間安弘AG
「第4グループ IM」



第5Aグループ 大隈秀仁AG
「第5Aグループ 最終会長幹事会」



第5Bグループ 杉崎信一AG
「第5Bグループ 最終会長幹事会」



第6グループ 富岡弘文AG
「横浜マラソン一人キャンペーン」



第7グループ 萩原庸嘉AG
「第7グループ IM」



第8グループ 伊藤和彦AG
「第8グループ IM」



第9グループ 柴崎正三AG
「第9グループIM、小田原城清掃活動開会宣言」

IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY

2022-23年度国際ロータリー第2780地区ガバナー

佐藤 祐一郎

クラブ会長・幹事の皆様、 そしてクラブ会員の皆様へ

国際ロータリー第2780地区
2022～23年度ガバナー

佐藤 祐一郎

(津久井中央RC)



ガバナー月信も6月末会員数等概ねの数字が出そろい、ガバナー補佐や地区幹事、地区委員長にも原稿を依頼しての最終号になりました。

この1年間、いや、準備段階も含めれば1年半を超える長きに渡って、会員の皆様、会長・幹事、地区委員、地区幹事、ガバナー補佐、パストガバナーの皆様には絶大なるご協力とご助力を賜りました事、まずは御礼を申し上げます。

COVID-19により国際協議会がパソコンを使っでのリモート協議会になり、地区チーム研修やPETS、地区研修協議会は、かいくぐる様にして何とか対面で開催できたものの、恒例の懇親会等は縮小せざるを得ませんでした。委員会もZOOM併用でのハイブリッド形式での開催を余儀なくされ、準備段階ではフル稼働には程遠い状況が続きました。さらに様々な懸案も重なり、順風満帆の船出ではなかったかもしれません。その不安を支えてくれたのが、相談できる同期のガバナー、ガバナー補佐、地区幹事や地区委員の皆様でした。眉間にしわを寄せる顔付を見て「ガバナーが暗い顔をしてはダメだ。楽しそうでなくてはいけない」と激励してくれたのも仲間の一人でした。

そうして笑顔での公式訪問が始まるや、会長・幹事はじめクラブの皆様は温かく迎えて頂き、たくさんの学びと共にみんなが仲間であるという一体感を、強く抱くことができました。生涯でこんなにも楽しく、素晴らしい1年間は有りません。これだけ沢山の仲間（Fellow）と知り合い、感動と思いをひとつにし、共感し合え

るという経験は、後にも先にも無いことです。

前年までに10人もの会員増強を果たしてくれた津久井中央ロータリークラブにはもちろん感謝しておりますが、最大の難関と思っていた地区大会が、3年ぶりのフル開催に漕ぎつける事ができたのは、第5グループ一丸となつての協力による、仲間の力です。

「取り戻そう!」「記憶に残る年にしよう!」とだけ掲げ、活動のイニシアティブをクラブに委ねましたが、例会で毎回ロータリーの話をしてくれた会長が大多数であったこと、地区が目標すら設定せずとも全力で会員増強に立ち向かってくれたこと、COVID-19を避けながらも、それぞれのクラブが素晴らしい独創的な奉仕活動を行ったこと、様々な親睦活動が復活したことなど、きっとCOVID-19で失ったものやロータリーが失いつつあるものを取り戻し、記憶に残る年になったことと確信しています。

歴史的増強を果たし、一時の低迷期を脱して創立60年で最多会員数となったクラブや新クラブ、新衛星クラブを立ち上げるなどの素晴らしいクラブもありましたが、少人数クラブの多くが起死回生をかけて増強に取り組み、未来につながる結果を残したことも、同様に特筆すべきでしょう。おそらく地区全体でも30年を超える間達成することのなかった年間増強数で、全国でも屈指になるはずで

これがクラブの力です。その気になりさえすればロータリーには、クラブには不可能は無い

のです。素晴らしい仲間とスクラムを組めば、きっと成し遂げられるのです。

地区委員会には決して旗を振らないように、地区や委員会が活動の主体になるのではなく、クラブの活動を徹底して支援するようにお願いしました。折しも更新となったホームページを活用してクラブをつなぎ、情報を共有するため、社会国際奉仕委員会ではリソースネットワークを、危機管理委員会ではハラスメント相談窓口、クラブ管理運営委員会ではなんでも相談の窓口を構築しました。青少年関係では、RYLAの復活。青少年交換委員会ではROTEXの感動的とも言うべき協力を得て3年ぶりの事業復活の準備とクラブからの提言を取り入れた仕様の変更。新たな立場となったローターアクトクラブやCOVID-19で低迷していたインターアクトクラブの再構築。様々なイベントを完全復活させた米山奨学委員会。クラブの奉仕活動や親睦活動の取材に駆け回った公共イメージ委員会。モチベーションを高め、パッションを売りにした会員増強委員会等々、いずれもクラブの将来に向けて積極的に取り組んでいただきました。クラブをまとめ上げるガバナー補佐との機能的な連携もあって、一体感を持って活動して下さった皆さんに、心から感謝申し上げます。

自分のクラブでもかつてあって苦い経験となったのは、地区に背を向けて、自ら参加しようとしなかったことでした。『クラブレベルを超えた人材の育成』と言われる通り、クラブの為にも多くの仲間と知り合い、多くの情報を得る場所を無視してはなりません。人の集まる所には情報と学びがあります。

本年度何より嬉しかったのは、若い新会員を含めて地区委員に出してもらうのにはどうしたら良いのかと問われることが度々あったことでした。私たちは仲間で、みんなでひとつになるという一体感も、こういう情熱やモチベーションから生まれるような気がいたします。

地区大会でお話した「巖の顔」の話はご記憶でしょうか。ガイ・ガンディガーの「ロータリー通解」に取り上げられた、ナサニエル・ホーソンの短編小説です。ロータリーを語るクラブ会長の姿は、きっと主人公のアーネストの姿であったに違いありません。

2022～2023年度も新たなレガシーを刻みましたが、この1年はそれで終わりではありません。新たな年度からも、未来に向けて、よりたくさんの方のアーネストが次々と現れてレガシーを伝え、仲間を導いて行くことと信じています。

最後になりましたが、素晴らしい仲間達と共にジェニファー・ジョーンズRI直前会長にも感謝を申しあげたいと思います。感情を揺さぶり、感動を共有する事の重要性を教えてくださいました。誰一人取り残さないクラブのあり方は、世界に共通するものです。そして「IMAGINE ROTARY」という、印象的で忘れることのできないテーマを掲げて頂いたことは、まことに幸運でした。

ありがとうございますの皆様、そしてジェニファー・ジョーンズ！

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
一年を振り返って	3
第3回米山奨学生と学友同窓生の集いを終えて	15
第7グループIM	16
第5グループIM	17
クラブ幹事・事務局研修	18
次年度向け会員増強セミナー	19

姉妹地区 第3662地区・地区大会に参加して	20
メルボルン国際大会に参加して	21
RYLAセミナー報告書	22
青少年交換 一泊研修	23
米山功労者一覧	24
R財団寄付者一覧	25
相模原おださがRC認証状伝達式/藤沢南衛星クラブ	26
2780地区ロータリーバンド コンサート/新会員	27

第1グループ・ガバナー補佐

宮本 清志 (横須賀南西 R C)

「IMAGINE ROTARY 想像しよう」のテーマで今年度が始まりました。R I 会長ジェニファー・E・ジョーンズの2022年1月20日のテーマ講演の中で、「Imagine」の歌詞は人々に行動を促すものだと話していました。ポリオのない世界。やさしさ、希望、あい、平和を想像してください。だからこそ、「イマジネーター」がテーマとなったのです。



そして第2780地区の佐藤ガバナーは「取り戻そう！」「記憶に残る年にしよう！」の地区指針を掲げられガバナー公式訪問、各種委員会、各グループ会長幹事会への出席と多忙な一年を送られました。行動しよう、記憶に残る年にしようを实践されたと思います。

その中で第一グループでも全クラブ参加のポリオ募金活動、10000m清掃活動が行われ、会長幹事会も全て対面開催ができました。又3年ぶりにIMも開催できました。各クラブの奉仕活動も全て対面でき、3年の空白を埋められたのではないかと思います。

もう一つ、会員増強では40名以上の新会員が仲間に加わりました。今年度ガバナー補佐を仰せつかり佐藤ガバナーの手助けとして十分の一はお役に立てたと思います。

本当に楽しい一年を送らせていただき感謝いたします。

第2グループ・ガバナー補佐

田中 哲 (鎌倉大船 R C)

『仲間と繋いだ一年』

今年は、どのクラブも3年ぶりに対面で奉仕活動が出来ることに期待を膨らませ、このタイミングでのAG就任に、喜びと程よい緊張感を持って7月が始まりました。



佐藤ガバナーは「記憶に残る1年に」「クラブあつてのロータリー」にしよう。この思いを体現する

べく、会長幹事会を可能な限りクラブの例会開催に合わせ、足を運ばせてもらいました。各クラブが日々どのような活動を行っているか、自クラブにも新たな発見はないか、それぞれの会長に協力願いながら進めて参りました。おかげ様で第2グループ内が強く一つに繋がっていること、何事も楽しむDNAを持った人たちの集う場所であること、大いに勉強になりました。そのような経験の中で、IMを行えたことは「AG引き受けてよかった！」と実感できた瞬間でした。鎌倉大船RCのメンバーには無理を言って協力願ったこと、感謝を申し上げます。また、第2グループの皆様には、クラブで大変お世話になり、心よりお礼申し上げます。

第3グループ・ガバナー補佐

永松 秀行 (藤沢南 R C)

私がガバナー補佐を出来るか？との自問自答から始まり前年度10月からのAG研修では色々と学び今までとは違った角度からロータリーをみれて本当に勉強になりました。そしてスタートを切り勉強した内容にR I と地区の方針を加味してそれに沿いながら自分の行動をとるようにしました。



コロナ明けということで第3グループ全体の大きな行事はIMだけでしたが、テーマもよく担当の藤沢西クラブの皆様の設営もよく、生活のすぐそばにある目に見えない問題を提起出来そしてたくさんの第3グループの皆様も参加してくださり私はとても感動致しました。そして、私の中で思っていた会員の増強数は予想以上の結果が出て、各クラブの会長幹事には大変感謝しております。そして藤沢南ディスカバー衛星ロータリークラブを立ち上げられた事を嬉しく思っています。

特に第3グループはクラブ数が10クラブとなり各クラブの例会訪問回数も多く楽しく参加できました。私は佐藤ガバナー年度にAGを務めさせていただいて、私のロータリーの記憶として一生残る年になりました。一年間ありがとうございました。

第4グループ・ガバナー補佐

當間 安弘 (茅ヶ崎中央 R C)

10月から始まったAG研修は、私のロータリーライフの礎になりました。完全な習得には至りませんでした。自分がまずどう行動をすべきかを、学ぶことができました。また、三年ぶりに開催をしたIMは、ウクライナ避難者を支援する主管クラブのメンバーの熱意が形となり、ウクライナ大使をお招きできたことで、記憶に残るものになりました。青少年交換事業に関しては、様々なお考えのある中、会長幹事会で改善提案をまとめ、提出した結果、地区委員会にも対応をいただいたことも大きな成果だと思います。これをきっかけに、今年度会長から一名、青少年交換委員会に出向していただきます。コロナの終息とはなりませんでしたが、各々の責任において各クラブでも事業展開が始まりました。AGの9名の仲間との出会い、そして、佐藤ガバナー年度にAGを務められたことは、私の今後の指標となりました。神尾会長はじめクラブのメンバーに支えられた一年間に感謝いたします。



局の皆様、そして私のクラブ、相模原ニューシティロータリークラブ会員の皆様のご理解とご協力、ご支援があったからです。今年度1年間、私を支えていただいた皆様に心より感謝申し上げます。

第5Bグループ・ガバナー補佐

杉崎 信一 (相模原南 R C)

『取り戻そう！』
『記憶に残る年にしよう！』

2022-2023年度はCOVID-19が沈静化により社会や経済が再び動き出しました。

楽しいクラブづくりをモットーに一年間務めてきました。まずは、会長幹事会に於いては予定者懇談会を1回、予定者会議を3回、2022年6月より毎月会長幹事会を行い、地区からの報告事項や各クラブの運営や活動について久しぶりの情報交換ができました。

各クラブへの定例訪問に於いてはクラブ主導のもと「楽しいクラブづくり」を各クラブが考え実行いたしました。

4年ぶりのインターシティミーティング(IM)開催について、佐藤ガバナーからはIM開催の有無はグループ(G)、そしてクラブで決めるように指示が出ている中、5月末日まで決まらなかったのは第5Gのみでした。5月29日に第5G合同懇親会が開催され、IMを開催するのか？開催するクラブはどこ？未だ決定していない中、相模原柴胡ロータリークラブ高橋会長へIMホストクラブのお願いを、清水地区RYLA委員長、大隈第5Aガバナー補佐、杉崎の4名で話し合い、高橋会長の男気でIMホストクラブを受けていただく事となりました。感謝の気持ちでいっぱいでした。ありがとうございました。

IMの内容については、パネリストの皆さんには、これまでの人生におけるターニングポイントや、紆余曲折したことについて語っていただきましたが、皆さんの共通事項は、がむしゃらに頑張っていた時期があり、若いからこそできる努力をしてきたということです。物事も真剣に突き詰めていくと、それまで積み上げて来たものが後々になって生きてくる。それを自ら体現されてきたパネリストの皆さんのお話は、非常に面白く、刺激的でした。また、懇親会では久しぶりに「手に手つないで」を斉唱できたことは心に残り各クラブの皆様感謝いたします。

最後に、ロータリーの勉強と共に新たな仲間が来た事。佐藤ガバナー年度にガバナー補佐を務めさ



第5Aグループ・ガバナー補佐

大隈 秀仁 (相模原ニューシティ R C)

今年度、ガバナー補佐を拝命し、地区はクラブのためにあるのだから、クラブのために何かお役に立てることはないかと一心に考えながら行動して参りましたが、予想以上に第5Aグループのクラブは、これまでコロナ禍でできなかった様々な活動を、今年度は活発に展開されたと思います。また、第5グループはガバナーズグループとして、地区大会の開催にあたり津久井中央ロータリークラブを中心に丸となり素晴らしい地区大会を開催することができました。まさに、佐藤ガバナーが地区活動指針で掲げられた「これまでクラブで失ったり、忘れてしまったりしてしまったものを取り戻そう！」「記憶に残る年にしよう！」を实践した年度になったと実感しております。



私が1年間ガバナー補佐の大役を務めることができたのは、第5Aグループの会長幹事の皆様、事務

一年を振り返って

せていただいた事。今までにない充実した一年でした。ありがとうございました。5Bグループの皆さまに感謝申し上げます。

第6グループ・ガバナー補佐

富岡 弘文 (大和RC)

『生涯の記憶に残る一年』

「AGって、どこでも参加できるの？」ならばと、地区行事には片端から参加。招待された式典の他、地区内すべてのIMに参加する目標も果たせて、大変多くの収穫を得ました。地区内クラブ主催の初釜や座禅、ハイキング、公開例会、同期AGクラブへの表敬訪問など、思う存分楽しませて頂きました。当初より想いの強かったIMでは、一昨年の主幹クラブ会長の際にやり残した10クラブの紹介と、AGの自由研究発表の願いを果たすことが出来ました。第6Gでは当初は無かった周年事業や、厚木RCの3,000回、座間RCの2,500回記念例会などが次々に企画され、奉仕活動も活発で日程調整がつかないほどでした。

会長・幹事会では、初回に地区からの報告等を熱弁すると、メンバーから砂時計のプレゼントが！友情も深まり、最終回には感謝状を頂き感激です。

私を選んで下さった佐藤ガバナーには心から感謝申し上げます。ホームクラブの皆様、一緒に歩んで下さった方々、家族と弊所職員の皆様にも感謝の気持ちで一杯です。



第7グループ・ガバナー補佐

萩原 庸嘉 (伊勢原RC)

コロナで3年間も我慢しているのだから何とかなると期待し、佐藤年度が始まりました。各クラブは周りの動向を窺いながら精いっぱい出来る事を実行され、5月にはついにコロナ禍終息と宣言され、記憶に残った年度として満足されたと思います。

私と致しましては 最初から "DEIをイメージする" 点、理解不能ながら勉強してまいりました。AG訪問で説明するのですが、なかなか難しい。自分自身でも良く分かっていないと思いました。しかしガバナー訪問で周っていくうちに、ガバナー卓話を



聞き又いろいろな意見を皆さんから伺い、ぼんやりとその輪郭が見えてきました RIはこの方向に向かっているのかとグループ内ではこの大きなうねりについて、まだまだ自覚されておられません。これからの変化を一緒に考えていきたいと思っております。

1年間楽しいだけのグループ活動でした。会員の皆さんに感謝するとともに、至らなかった点お詫び申し上げます。

第8グループ・ガバナー補佐

伊藤 和彦 (平塚西RC)

私がガバナー補佐として1年間活動したこの貴重な経験を振り返ります。この一年間は、自己の成長とリーダーシップの発展にとって重要な一年でした。クラブメンバーや地域のリーダーと協力し、様々なプロジェクトを企画・実行しました。



ロータリーの理念と価値観を深く理解し、奉仕の精神と国際的な連帯を重んじる組織であることを学びました。教育や環境保護に焦点を当てたプロジェクトに参加し、地域社会に良い影響をもたらすことができました。

ガバナー補佐としての役割では、クラブメンバーとの連携や情報共有が重要でした。定期的なミーティングやイベントでメンバーと交流し、コミュニケーションとチームワークの重要性を再認識しました。

この一年間で学んだ最も貴重な教訓は、困難な状況でも諦めずに前進することです。私はロータリーの会員の皆様のご指導のもと、今後もロータリークラブの発展と地域社会への貢献に向け活動してまいります。この一年間の学びと成長に感謝いたします。

第9グループ・ガバナー補佐

柴崎 正三 (小田原北RC)

21年春AG指名を戴き、10月第1回研修から翌年6月迄の9回の研修で学ばせて戴き、佐藤ガバナー指針の「ロータリーはクラブが原点。ひとり一人の会員が大切。学び能力を活かし力を合わせイメージした世界の実現を目指し、取り戻そう記憶に残る年にしよう」を胸にAG本分のクラブと地区、



クラブとガバナーのパイプ役としてスタート致しました。年度早々のガバナー公式訪問から年間全ての行事が対面で実施出来、感激もひとしおとなりコロナも5類へ変化し「普通の有り難みを実感」、佐藤ガバナー公式訪問は7クラブ全て楽しく和やかに活発に進み年度初めから勢いがつきスムーズな年間活動に直結致しました。

ポリオ根絶キャンペーンはクラブ単位で行い、全クラブ違う場所での実施に出番も増え、各クラブの皆さんとの交流も楽しめました。

IM・合同例会では寒風吹きすさぶ今年一番の冷え込みの中、他団体にも呼びかけ小田原城の清掃活動、夕方からの合同例会は「多様性を歓迎し繋ごう未来へ」をテーマに地元も意識した2組の講師をお招きし例年より時間延長させて戴き、学びと懇親の場となりました。

年度全ての活動が貴重な経験でした。佐藤ガバナー、森田地区幹事、地区チームの皆様、関係をお戴きましたロータリー会員の皆様、そして同期AGの皆様にご心より御礼申し上げます。

地区幹事

森田 正紀 (津久井中央RC)

昨年7月地区スローガン「取り戻そう!」「記憶に残る年にしよう!」を掲げ佐藤ガバナー年度がスタートしました。

10月15、16日には地区大会が開催され第5グループの皆様を中心に多くの方々にご協力頂き大きなトラブルも無く無事終える事が出来ました。

また、第3662地区(韓国済州島)からはキムガバナーをはじめとする11名の方々がお見えになり地区大会にもご参加いただきました。その翌日17日には日韓早朝会議、その後姉妹地区委員会の皆様を中心に日韓交流会としてお茶会を開催、おもてなしをする事が出来素晴らしい交流会となりました。年が明けて5月15、16、17日には第3662地区の地区大会にお招きいただき姉妹地区として素晴らしい交流会になりました。

1年間を通じ第1グループから第9グループ全てのグループがIMを開催、念願でありましたRYLAも開催する事が出来ました。そして新クラブの認証伝達式や周年事業等、最後まで駆け抜けてまいりました。

この1年間地区幹事として活動をさせて頂き沢山



の人に支えられ、多くの人々と出会い、友情を深める事が出来、本当に記憶に残る素晴らしい年になりました。皆様にはご支援、ご協力を賜り1年間乗り切る事が出来ました事、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

地区戦略計画委員会

委員長 田島 透 (ふじさわ湘南RC)

2019年国際ロータリーは「ビジョン声明」と今後5年間の「行動計画」からなる新しい戦略計画をスタートしました。そして、私たち第2780地区では、これまでRIの戦略計画に呼応し、地区とクラブは連携して戦略計画策定とその実践に力を入



れてきました。2019年には「地区ビジョン」が、2020年には「地区行動計画」が地区大会で採択されました。しかし、クラブ戦略計画を実施しているクラブは多くないのが現実です。

当委員会では、これまでの活動成果を踏まえて、希望に満ちた将来像(ビジョン)をかかげ、すべてのクラブが意欲を持って取り組める新しい行動計画を策定し、活力と活気に満ちたより魅力あるクラブになることを提唱しています。そこで今年度はマニュアルとしてRIおよび地区戦略計画をわかりやすくご理解いただけるようにMP4ファイル(ビジュアル化)で作成しました。

地区研修委員会

委員長 田中 賢三 (茅ヶ崎RC)

AGE研修、地区指導者育成セミナー、地区チーム研修セミナー、PETS、地区研修・協議会、クラブ活性化をサポートなどが主要年間事業です。委員会が一丸となって事業を遂行して頂きました。佐藤ガバナー、委員会の皆様にご大変お世話にな



りました。そして田島敏久ガバナー年度に向けての準備も整いました。参加された皆様を含めてすべての関係者に心より感謝致しております。2019年規定審議会においてローターアクトクラブが国際ロータリー加盟クラブとなりました。2022年7月1日より人頭分担金が義務化され、財団プログラムにも参加

一年を振り返って

出来るようになり、ロータリークラブとほぼ同等の権利を持つようになりました。従って全てのセミナーに出席要請をする事になりました。各事業の反省点もありますが次年度に生かすように致します。コロナの影響も薄くなり完全に正常化一步手前のところでした。そんな訳で、地区研修協議会の懇親会は会場の都合で開催出来ませんでした。参加クラブは地元で大いに盛り上がったことでしょう。

地区危機管理委員会

委員長 石田 隆 (逗子RC)

今年度の危機管理委員会では最初に2022年9月3日ミナパークにて、講師：近藤眞道氏(D2660 RIJYEMアドバイザー)をお招きして危機管理セミナーを開催いたしました。そして、①第2650地区(京都・奈良・滋賀・福井)と当地区との災害時相互支援協定を佐藤ガバナー、新井青少年交換委員長の署名のもと締結して頂きました。②危機管理対応のため「おなやみごと(ハラスメント)相談窓口」を地区Website上に開設致しました。③2023~24年度青少年交換プログラム再開の準備として地区危機管理計画書を作成し、有事への備えが整いました。④青少年交換以外の青少年奉仕、RAC、米山奨学、R財団奨学に関わるロータリーの会員やボランティアを対象とする地区認定・新世代ボランティア誓約書を用意致しました。2023~24年度より使用して頂きます。今年度は危機管理に関する大きな事案が発生しなかったことが何よりと安堵しているところです。危機管理委員会の皆さま、お疲れさまでした。



姉妹地区委員会

委員長 佐野 英之 (秦野RC)

日韓親善を主眼に、元RI会長D.K.lee様並びに元RI理事小沢一彦様との御協議の末、誕生した両地区の姉妹関係も次年度で満10周年を迎えます。結成当時より相互の地区大会表敬訪問から数年後に始まったロータリー活動の一環としての奉仕活動が



スタートし、又、グローバル補助金活用のカンボジアへの医療器具贈呈や地区補助金を活用した、両国間中学生交換交流会が行われ、更に当地区会員増強に関する女性会員の増強を図る為の女性交流会として2回から3回に渡るzoom会議等々を開始しました。又、地区内では、地区全体に周知する目的で第3662地区の歴史から現在の状況を少しでも理解して頂く様に「ガバナー月信」を活用し、掲載しました。又、5月に開催される第3662地区会員大会には小沢様を初め総勢21名が訪問しました。この様に年を重ねると共に親睦が深まりますが言葉の障害を乗り越え、相互の友情の絆が益々太く成っております。

以上の様にこの一年活動を行ってまいりましたが、未だ未だ地に着いた活動とは言えません。歴代の委員長さんのご指導の下、一步一步確実に友情の輪を築いて行きたいと思っております。

地区ホームページ委員会

委員長 小野 良太郎 (秦野中RC)

本年度は昨年2月に完成した地区HPの普及促進に努めてまいりました。RI会長テーマ「イマジン ロータリー」、佐藤ガバナーの「取り戻そう!」、



「記憶に残る年にしよう!」とどちらも行動が必要になります。その行動をアップし記録に残し、地区内クラブがHPを見ることでその行動イメージを膨らませるサポートができればと、活動してまいりました。地区委員会活動は月信と連動してアップ、各クラブも奉仕活動をアップしていただけました。新会員's VOICE、地区facebookページの埋め込み、おなやみごと(ハラスメント)相談窓口設置、国際奉仕リソースネットワーク創設、職業奉仕卓話動画等地区委員会もHPを活用していただき、動きのあるページとなったと思います。HPが少しでも多くの会員に利用していただけるよう願っております。委員会のメンバー、アシスト・ワン様、ガバナー事務所の皆様等関わっていただいた全ての関係者様に感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

ロータリーの友地区代表委員

端山 創之 (藤沢西RC)

『ロータリーの友』

更なる関心と活用を

本年度は「ロータリーの友」にとって、創刊70周年という節目の年でした。

「ロータリーの友」の歴史と合わせ、ロータリーの歩んだ活動、思想を振り返りいくつかの特別企画の掲載をいたしました。「ロータリーの友」ウェブサイトにはアーカイブ機能を載せ、過去の「ロータリーの友」をデータ化し様々な検索を可能としました。先達がロータリー活動に寄せた思いを学び、活動が生み出した成果を知ることが出来る貴重な財産です。今後とも皆様には「ロータリーの友」へ更なる関心を高めていただき、様々な場面で「ロータリーの友」をリソースとしてご活用いただければと思います。一年間、本誌に関われた事に感謝いたします。有難うございました。



素晴らしいメンバーとの信頼関係の上で連帯し、助け合うことで絆の大切さを教えて頂いた一年でもありました。委員会メンバー、関係各位に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

地区公共イメージ委員会

委員長 大川 久弥 (小田原城北RC)

今年度も委員会では引き続きSNSによる情報発信を行ってまいりました。毎月配信しているFacebookによるライブインタビューでは、その時々話題のゲストをお呼びし、地区ではどのような活動が行われているのかを、会員の皆様に生の声で提供させて頂きました。またコロナ禍が終息に向かう中、各クラブで様々な奉仕、親睦活動が再開され、委員会でも各地に取材にお邪魔して、ロータリーのありのままの姿をFacebookやYouTubeに投稿させて頂きました。



いろいろなところで取材をさせていただくにつれ、どこのクラブでも素晴らしい奉仕活動を実践しているのに、ロータリー以外の人にあまり知られていないのは何と残念なことだと感じるようになりました。認知度の向上には委員会の活動も必要ですが、会員お一人お一人からの発信が大事です。ただ最近ではいろいろな方から委員会へ取材のご依頼を受けるようになり、認知度向上への皆様のご理解が深まったものと思っております。委員会メンバーには1年間、精力的に取材に赴いていただき感謝申し上げます。

地区クラブ管理運営委員会

委員長 辻 彰彦 (大和中RC)

本年度、佐藤ガバナーは、クラブにとって印象的で記憶に残る年度の実現を目指すことを強調され、当委員会としてもアクティブに活動致しました。

新会員の集いでは、佐藤ガバナーの熱のこもった語りかけは新会員のみならず参加者全員の記憶に残ったことでしょう。

一方で、会員の皆さまからのご質問に対しお答えする、「よろず相談」窓口の運営や規定審議会の内容を如何に分かりやすくクラブにお伝えできるかが課題でもありました。

また、「木曜デジタルでしょう」を開催し、My Rotaryアカウント登録推進やグループ間での登録率向上のためのキャンペーンを行うことができました。新たな取り組みとして親睦活動をフォーカスしました。近隣地区との野球大会やテニス大会など、今まであまり知られていなかった親睦活動を通じて、お互い打ち解ける機会を創出し、新しいメンバーとの出会いや交流を楽しむことが出来ました。



地区会員増強委員会

委員長 岩澤 あゆみ (茅ヶ崎RC)

『最高最強の委員会メンバーたちとの忘れられない1年間』

いよいよ各クラブの活動が活発になった今年度は、多くのクラブが増強の成果を残し、会員維持にさらに力を入れた1年間となりました。やるぞ！と勢いつけるクラブさんをサポートすべく、様々な取組みに委員会一丸でチャレンジ出来たことをうれしく思います。たくさんのクラブで卓話をさせて頂きました。たくさんの新会員さんと出会うことが出来まし



一年を振り返って

た。多くのクラブと距離を縮め、困ったときにはいつでも何でも相談にのれるような関係を作れたことが大きな成果だと思っています。クラブの方や事務局の方たちからの「ありがとう」「本当に助けられた！」の言葉は涙が出るほど。新会員のインタビューは昨年から合わせると80名以上。新会員親睦は今年も米山委員会と共に日帰りのバス旅行が開催出来ました。涙あり笑いありの情熱溢れる増強セミナーの開催。この数年で播いた種がいつか大きな花を咲かせますように。ロータリーの未来・希望を感じることが出来た多くの出会い。たくさんの感動。言い尽くせないほどの感謝を。

地区職業奉仕委員会

委員長 生駒 秀之 (綾瀬RC)

『まず、第一歩』

昨年、職業奉仕委員長を仰せつかり、委員会の皆さんやロータリー会員、所属クラブの方に支え応援され1年間活動出来た事をまず、初めに感謝を申し上げます。前年度までは、奉仕委員会の中の小委員会「職業奉仕」でありました。佐藤ガバナーにて「職業奉仕」委員会を再度、単独の委員会として組織して頂きました。佐藤ガバナーの「取り戻そう」を基軸として、委員会活動を始めました。私自身は、職業奉仕委員長は初めてでしたが、継続された委員方や担当副幹事の前沢会員は直前の職業奉仕委員長という事もあり、幸いでした。まず、活動のテーマ、基本的な路線を決めるまで、委員会でも多くの時間を費やしました。テーマが「職業奉仕の第一歩」と決まってからは、どのように各クラブ訪問卓話で伝えていくか？など職業奉仕月間に間に合わせるように委員会で検討しました。関係者各位に無理を言いながら、DVD作成が出来ました。全ての会員に納得頂くような完全なものは出来ませんが、まず、職業奉仕を知ってもらい、広めて頂く。

そして、日々の生活の中で私たちロータリー会員が既に実践している事が「職業奉仕」と言う事を伝えました。時には「食材」や「塩」をととえに「塩梅よく」など例え話いたしました。また、ロータリーアクトを始めとする職業分類の緩和による会員への



「職業奉仕」を伝える、一緒に活動する相互理解など、課題を設け「職業奉仕の第一歩」を行いました。また、「子ども食堂」に関する第8GのIMへの参加、新クラブ例会卓話、ロータリーアクト委員会での委員会説明など多くの皆様ご理解、感動する機会を頂きました。今後も委員会がもっと深く広く活動できる事を期して1年の報告の挨拶といたします。機会を頂いた、佐藤ガバナー「ありがとうございます」。

地区社会・国際奉仕委員会

委員長 山口 俊明 (藤沢東RC)

社会奉仕・国際奉仕活動のサポート、クラブ社会・国際奉仕委員長研修会の開催、地区リソースネットワークの構築を事業内容とし活動してまいりました。2022年12月10日「やってみよう・新しい何かを」テーマに、社会・



国際奉仕委員長研修会を地区ロータリーアクト委員会と共同して開催しました。社会奉仕の講演では小谷田紀夫委員(大和田園RC)に「よりよく生きるとは」をテーマに、国際奉仕の講演では、山口道孝委員(鎌倉中央RC)に「グローバルに生きるとは」をテーマに、地区リソースネットワークの構築については向井稔委員(鎌倉RC)に『新たな情報インフラ』をテーマとして講演して頂き素晴らしい研修会となりました。又2023年4月には『国際ロータリー第2780地区・国際奉仕リソースネットワークのご案内』を地区ホームページに掲載する事が出来ました。今後ブラッシュアップしてまいりたいと思います。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

地区青少年奉仕委員会

委員長 岡田 英城 (横須賀RC)

『ロイター板の先にあるもの』

地区青少年奉仕委員長として、インターアクト・青少年交換・RYLAの各委員会の皆様と共に、国際社会・地域社会において、「未来のリーダーを育成する。」というミッションの中、活動をしてまいりました。



小学生・中学生・高校生のとき、体育で跳び箱を飛んだ記憶が皆様にはあると思います。その跳び箱を飛ぶときに、使用するのが「ロイター板」です。板の上でしっかりと足を踏み込むことで、反動を得てより高く跳躍することができます。各委員会では、私たちの役目は「ロイター板」を用意し、そして青少年のみんなに飛んでもらおう。」と話しかけました。青少年ひとりひとり、「跳び箱を20段飛びたい、まったく飛べない、今は5段だけど6段飛びたい」など、それぞれ違います。そのため、私たちはその青少年にあったロイター板を一緒に考え、共に用意し、最後に自ら納得して飛んでもらおうと活動を進めました。

青少年のみんなには、「ロイター板の先にあるもの」を目指して飛躍してってもらいたいと思います。また、私たちも「ロイター板」を共にすることで成長していけると考えております。

インターアクト委員会

委員長 林 雅巳 (鎌倉RC)

コロナ禍で先が見通せない環境ではありましたが、毎月開催のアクターズミーティングを始め、新世代交流会（相模原市民会館、2022年10月16日）、インターアクト年次大会（三浦学苑高等学校、2022年11月23日）、一泊研修（箱根星槎学園、2023年3月25～26日）の各事業を無事に開催することができました。「台湾海外研修事業」だけが感染症対策の観点から開催することができませんでしたが、2022年12月25～27日に愛媛県今治市での研修事業に変更して開催しました。参加した他地区（RID2590、RID2670）IAとの交流を通じて参加した全てのメンバーに多くの気づきと学びの機会になったと考えます。

最後になりましたが、ご指導賜りました佐藤祐一郎ガバナー、岡田英城青少年奉仕委員長並びに1年間共に活動した委員会メンバーを始めとするすべての皆さまに感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。



青少年交換委員会

委員長 新井 智代 (藤沢南RC)

『再始動の1歩を踏み出して』

コロナパンデミックで途中帰国となってから3年ぶりに派遣候補生を9名選出いたしました。交換として9か国（カナダ・ドイツ・フランス・イタリア・デンマーク・スウェーデン・台湾・メキシコ・ブラジル）からのインバウンドを決定し、男子6名女子3名の学生が次年度8月に来日致します。



この1年は止まっていたプログラムを再始動することに大きなエネルギーが必要でした。結果として委員会が多方面からいただいた改善のご要望にお応えできつつあるのは、佐藤ガバナーの強いリーダーシップとROTEXの活躍のおかげです。まさに青少年交換プログラムを取り戻す1年となりました。派遣生を応援して下さるスポンサークラブの皆様、来日学生の受け入れ準備に対応くださるホストクラブの皆様へ改めて心から感謝申し上げます。

次年度も高校生の親善大使の成長を見守り、応援いただきたく何卒よろしく願いいたします。

RYLA委員会

委員長 清水 寿人 (相模原柴胡RC)

今年度は何としてでもセミナーの開催を委員会メンバー皆で望んでスタートした年でした。3年越しの願いが実現することが出来たことは非常に感慨深いものがあります。受講生の募集に関してはガバナー補佐を先頭に各グループ・各クラブ・各ロータリアンのご協力を頂き予定募集人数を上回る参加となり開催が出来ました。ありがとうございました。又2670地区・2680地区のロータリアン、RYLA学友の皆様にお手伝いを頂きセミナーを進められたことに熱い友情を感じました。第5グループの皆様にもご理解を賜り感謝申し上げます。今年度佐藤ガバナー地区方針の「取り戻そう！」「記憶に残る年にしよう！」を少しでも実現出来たのは3年間私を支えてくれた最高の委員会メンバー皆様のおかげです。すべてに感謝本当にありがとうございました。



一年を振り返って

地区ローターアクト委員会

委員長 大野 宏一 (逗子RC)

『ローターアクトについて学ぼう!』

2019年規定審議会は、国際ロータリー（以下RI）の組織規定を改正し、ローターアクトクラブがRIの加盟クラブに含まれることとなりました。RIにはロータリーとローターアクトの2つのクラブがあるということです。ローターアクトクラブはロータリークラブとは異なった、独自性・クラブ文化・会員の特典をもっています。ロータリアンとローターアクターはそれぞれ独自の形で活動し、また、世界・地域社会・そして自分自身に変化を生むという共通目標に向けて協力することとなりました。

ローターアクターはクラブ・地区・多地区合同で素晴らしい活動を行っています。ロータリアンは、その様々な素晴らしい活動に参加し、ローターアクターの活動についての認識を高めましょう！ローターアクトクラブの柔軟性・革新性・多様性を感じてください。きっと新たな発見があることでしょう！



地区ローターアクト委員会

委員長 石川 大 (相模原RAC)

『青春』

1年間一緒に活動いただき、誠にありがとうございました。RACの立場が変わった最初の年度ということで、多くの機会とご支援を賜りました。関わって下さった皆様には感謝の念に堪えません。

私が考えるRACの良さは『フランクさと自由さ』です。今年度は多くの新規会員を迎え、例会もかなり活発になりました。

この1年間、異なる価値観やバックグラウンドのメンバーと何かを企画し、実行する過程には素敵なお話ばかりでした。豊かな想像力、燃える情熱、困難を乗り越える勇気、安易を振り捨てる冒険心。みんなに価値観を広げてもらって、やったことないことに一緒に挑戦して、30年間の人生でこんなにも自分の可能性が広がったと感じる1年はございませんでした。間違いなく私にとっての『青春』です。



今後も各クラブに所属する皆様が、それぞれの立場で『青春』を感じていただき、自身の可能性を拓けていけるRACになっていくことを願っています。

地区ロータリー財団委員会

委員長 大谷 新一郎 (相模原南RC)

・地区財団セミナーの開催

新年度始まって直ぐに開催されました。コロナ禍の影響による寄付状況の停滞を打破する内容のセミナーとしました。

・補助金説明会・補助金管理セミナー (年2回)

従来の補助金申請の手引きの書面を見ながらの説明ではなく、パネルディスカッション形式で、参加者の質問等に対応できる形としました。

・財団奨学生選考

従来1名の選考でしたが、コロナ・ウクライナ情勢等による留学が延びたり、帰国を余儀なくされた奨学生のため今年は2名の選考としました。

・日本ロータリー学友会全国総会の開催

今年度は当地区で総会を開催することとなり、地区の柚木会員が学友会の会長として総会を鎌倉で開催しました。

・平和フェロー受け入れ

コロナ禍の影響で来日できず、延期されていたフェローを含め4名の受け入れをしました。

以上とても充実した内容の一年でありました。各委員会の委員長さんはじめ委員の皆様へ改めて感謝するとともに皆様のバイタリティーに敬意を表します。



財団補助金委員会

委員長 中村 眞英 (伊勢原平成RC)

『地域に価値ある奉仕に補助金を』

【柔軟性があった地区補助金】

新型コロナウイルスにより、地区補助金申請がここ数年少なかったです。そこで新型コロナウイルスの影響があっても出来る奉仕プロジェクトの為に追加募集をこの数年実施してきました。またコロナ禍やウクライナ紛争の為



に断念していた奨学金の為に財団奨学生を2名に増やすことが出来たことは補助金の柔軟性を感じました。追加募集など今までにないルールでしたがロータリー財団委員会が柔軟に対応した対応力の素晴らしさを感じました。

【感謝】

多くの皆様からご意見やご相談をお寄せいただき補助金に関心を深めて頂いた事を嬉しく思っています。補助金を活用して地域に価値ある奉仕をしていただき、これからのクラブ活性化に繋げて頂ければと思います。

また9年にわたり地区のロータリー財団に関わって来まして色々学ぶ事が多く、私の財産になりました。感謝申し上げます。ありがとうございました。

補助金配分・VTT委員会

委員長 柴田 直明 (小田原北RC)

『はじめて補助金配分委員長になって』

地区に出向して五年くらいになりましたけど、委員や副委員長と委員長の扱いは、まるっきり違うものだと知った一年間でした。



まず地区チームと言うのも聞いた事はありましたが、ネクタイを支給されたり、委員長が地区において重い立場にある事を実感しました。佐藤ガバナー(当時はエレクト)から補助金配分の委員長をやってくれると言われた時は、はい、イエス、喜んで、では足りず、待ってました、の状態でした。

ですから財団に係るものは、地域セミナーから、神戸のロータリー研究会、そしてメルボルンの国際大会もはじめて行ったのも良い経験になった一年間だったと思っています。

私は補助金しかやっていない人間ですが、地区の補助金関連では全てを把握していると自信があります。わからない時の師匠もいますし。次年度も補助金関連に係りますが、小委員会の委員長では無く中委員会の副委員長として委員長とロータリー財団委員会を陰から全力で支えて行こうと思っています。そして更に地区補助金が、各クラブの身近なものになる様に考えて行きたいと思っています。

地区補助金を使った素晴らしい奉仕活動はロータリーの真髄だと思いますし、公共イメージや会員増強にも繋がるものだと信じています。これからも気

合いを入れて行きます。よろしくおねがいします。

補助金管理委員会

委員長 坂根 隆志 (ふじさわ湘南RC)

1年間ありがとうございました。



コロナ禍において補助金事業が減少しておりましたが、申請が通り、行われた事業が無事完了した報告を受けると少しホッとした感じがします。今回の委員の方々は、初委員が多く、年度当初は戸惑いもあったと思いますが、年度の後半には、率先して委員会に参加し、完了報告書の確認作業をして頂き頼もしいかぎりでした。そもそもこの委員会は、事業が開始してから主な役割がスタートする委員会で、事業のサポートも役割ですが、事業終了後の完了報告書のお手伝いと確認がメインとなりますので、他の委員会に比べてエンジンがかかるのが遅い委員会です。そして、年度の最後まで作業の続く委員会ですので委員のみなさんには年度の最後までお世話になりました。あらためて感謝申し上げます。私はもう一年この委員会の委員長を務めますので、引き続き補助金事業を行うクラブのみなさんが安心して完了報告ができるようお手伝いをしたいと思っています。

財団資金推進委員会

委員長 山田 修 (相模原南RC)

『寄付金ご協力の御礼』

会長、幹事、クラブ財団委員長をはじめ皆様にはロータリー財団へのご協力を1年間有難うございました。佐藤祐一郎ガバナー年度の地区目標は、年次基金1人200ドル以上、ポリオプラス1人40ドル以上、恒久基金1000ドル1クラブ1人以上、ゼロクラブゼロでした。



円安の影響によりクラブの年間予算からロータリー財団へ寄付をされているクラブには大きなご負担になった1年だったかと思いますが、この原稿を書いている6月下旬で5月末の年次基金の実績は42万4千5百ドル(1人183ドル)となりました。

この1年間、卓話や会長幹事会を通じてロータリー

一年を振り返って

財団への寄付に各クラブがご苦労や工夫をされているお話を直接聞けた事は貴重な経験となりました。2023～24年度も当委員会の委員長を継続させていただきますので、この経験を無駄にする事なく活かしていきたいと思えます。

平和フェロー・奨学金委員会

委員長 福山 茂 (相模原グリーンRC)

『多くの優秀な人材が 皆様の寄付で世界に貢献』

今年度は3年ぶりに当地区担当の平和フェローが4名来日しました。第19期生サビナ・カキナリさん（コソボ）、第20期生のルシア・プリードさん、第21期生のダイアナ・グティエレスさん、カルロス・ナバレタさん（以上3名はコロンビア）です。地区大会やROTEX主催の鎌倉散策の他、クラブでの卓話や親睦例会への出席など例年より積極的な交流ができました。平和フェローに対する一定の知名度アップは成就できたかと思えます。



一方ロータリー財団のグローバル補助金奨学生は3名が合格、石井あゆ美さんはイギリス、伊比井冴子さんはイタリア（予定）、マリック・ジャイタさんは韓国へ、そして地区補助金奨学生は2名が合格、藤原和奏さん、有吉玲さんは共にフランスへ留学されます。

この様に皆様の寄付が、多くの才能ある優秀な人材にレベルアップの機会を与えてくれています。ゆくゆくは世界に貢献する人材に成長することを期待いたしましょう。

最後に平和フェローのカウンセラー4名を含め、委員の方々に本当にお世話になりましたこと、ここに厚く御礼申し上げます。

地区米山奨学委員会

委員長 三荒 弘道 (平塚RC)

令和5年6月27日(火)鎌倉パークホテルにて22～23年度及び23～24年度新旧米山引継ぎ懇談会が開催され、22～23年度第2780地区米山奨学委員会の全ての事業が終了いたしました。今年度は地区方針「取り戻そう！記憶



に残る年にしよう！」の下、特に学友会に組織強化、危機管理上のハラスメント対策を中心に事業展開してまいりました。2023年度奨学生より、米山学友チューター制度の導入、委員会メンバー及び世話クラブカウンセラーの新世代育成ボランティア誓約書提出が決定され次年度以降適用されます。今後もより良き米山奨学金制度を目指し、課題を1つ1つ整理し対応してまいります。

結びになりますが、お世話になりました佐藤ガバナーを初めと致します地区役員の皆様、今年度米山奨学委員会4副委員長を初めとする委員会の皆様、各世話クラブ会長・幹事・カウンセラーの皆様、ルイ会長を初めとする米山学友のメンバーに心から感謝申し上げます。米山奨学委員会最終報告と致します。

「1年間お世話になりました。ありがとうございました！」

地区ポリオプラス委員会

委員長 笠間 治一郎 (綾瀬春日RC)

2022～2023年度のポリオプラス委員会では、「取り戻そう！

END POLIO NOW」の目標

のもと、ロータリーの最優先事項でもあるポリオ根絶の重要性の理解と協力を浸透させるべく、希望のあった地区内15クラブへ

の卓話を実施してまいりました。また、コロナ禍の中、できなかった「END POLIO NOW」の募金活動も各クラブや各グループで50回程の募金活が行われました。このことで会員一人ひとりへポリオ根絶の重要性への意識が深まり、佐藤祐一郎ガバナーの「取り戻そう！」に少し近づけたのではないのでしょうか。

2022年の野生型ポリオ症例数は30症例（3か国）と前年度より増加、2023年は5月末現在で4名（アフガニスタンとパキスタン）となっています。このまま減少してポリオ根絶できることを期待しています。あと少しです。

最後になりますが、佐藤ガバナーをはじめ、ガバナー補佐、地区役員、そしてポリオプラス委員、全ての皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



『第3回米山奨学生と学友同窓生の集いを終えて』

2023～24年度 米山奨学委員会

委員長 小山 美智恵

(横須賀RC)



連休最終日の5月7日(日)、雨模様の午後2時より今年も米山同窓会を開催しました。1回目、2回目のアンケート結果を元に今回は講演会のあと藤沢宿のまち歩き+折鶴のワークショップ、懇親会を計画しました。会場参加者はロータリアン21名、学友6名、奨学生13名、ZOOMでも12名ほどに参加していただき、海外からの懐かしいお顔にもお目にかかることができました。

基調講演は元米山奨学生でミャンマー出身のDaisy Thangさんによる『米山記念奨学生で良かった！』です。日本への憧れから米山奨学生になるまでの経緯、現在は日本の企業で母国との懸け橋となるお仕事をされていること、それらは米山奨学生であったからこそという彼女のストーリーは、奨学生や学友のみならず私たちの心にも強く響くもので、米山事業の意義を再確認するものとなりました。

まち歩きワークショップでは、藤沢宿の歴史と現在残っている文化に触れながらコミュニケーションを図るという目的で、2班に分かれて昭和初期に建てられた榎本米店というお米屋さんの建物をアートスペースとして利用している『蔵まえギャラリー』と『ふじさわ宿交流館』の資料館を見学しました。

蔵まえギャラリーでは建築士の方から、建物の特徴や商家の暮らし、大切なものを火事から守る蔵の必要性の説明を聞くことができました。お城や寺院、民家とも違う町屋の空間から日本古来の文化に興味を持つきっかけになればと企画しましたが、私たちが忘れていた日常の知恵と時間の流れ方を再確認できたように思います。

折紙ワークショップでは、基本の折鶴の他、アレンジした鶴のカード立てを作り、その後の懇親会の席札にしました。新奨学生にとってはお茶菓子を食べながら、カードに名前を書いたり、シールを貼ったりする時間がこれから長いお付き合いとなる仲間と親睦を深める機会になってくれて、先輩ともよい関係を築いてくれることを願って企画しています。介護施設のアクティビティの風景に似ているという感想もありましたが、和やかな雰囲気の意味だとポジティブにとらえております。

これからも多忙な日々を送る学生や就職して間もない学友が楽しかった、義務としてではなく参加したい、この繋がりこそが財産だと思える内容を企画していきたいと思います。



『第7グループ IM報告』

第7グループ

ガバナー補佐 萩原庸嘉

(伊勢原RC)



2023年5月21日、伊勢原シティープラザにおきまして、第7グループIMを開催しました。今年度テーマは「ロータリー危機管理について」です。地区でも危機管理セミナーを開催いただきまして、参加者はそれなりの意識をもって活動されていますが、クラブに降りて考えますと、参加義務者や地区出向者（青少年交換・職業奉仕・米山奨学・新世代の各委員会等）以外はなかなか理解されておらず意識もされていないように感じておりました。2019年よりRIはDEIを打ち出し今年度はジェニファージューンズRI会長の活動方針にも色濃く映し出されています。それを理解し実践するには、危機管理について深く考えなくてはならないと感じまして、今回少し硬いと思いましたが、このテーマで進めていきました。グループ内クラブに何回も足を運び理解していただくと考えておりましたが時間の制約もあり、IM開催前回の危機管理卓話となりました。各クラブから意見を聞きますと独自で危機管理については勉強し設定している事が分かり少し安心しました。この深く難しい危機管理の設定は、RIや地区等が細かく設定したルールに沿って構築していくのがロータリーとしての在り方ではないかと感じました。

今回のIMは事前勉強会として、地区危機管理委員会の協力を得て各クラブに危機管理についての卓話に回り、クラブで討議いただき、IM当日クラブでどのように考えているのか、又疑問点はあるのか、短く5分以内と時間を切って、発表していただき、IM危機管理セミナー講演に望む形

をとりました。いきなり危機管理セミナーでは、受け入れられない会員が多々いらっしゃる考えたうえでの進行となりました。講師の先生には、地区危機管理セミナーでご講演頂きました、近藤眞道先生を予定しておりましたが、急病の為急遽2660地区2017~18年度ガバナー片山勉PDGに（現RYJEM副理事長）をお願いいたしまして開催出来ました。大変お忙しい中ご講演頂きまして、厚く御礼申し上げます。

今回はガバナーをIMリーダーとしてお願いしました。昔ですとリーダーに1からご指導を受け、開催していくのですが、今回ガバナーはIMは開催したければやれば良い、ただし、やるのなら自ら考え実施してほしいとの指導を受けておりました。それに基づいたIMでするのでリーダーの意を十分理解したうえでの実施と考えております。

第7グループIMは、昔からガバナー補佐の思うところ実行委員会の承認を受け、ある程度自由に開催いたしております。今回も難しいテーマでしたが、勉強会を実施でき、アフターコロナの懇親会と言った位置付けで、決して派手ではありませんが、お酒と食だけにこだわった宴を開くことが出来ました。これが一番、会員間の親睦に繋がるとおもっております。

第7グループのIMがこのように開催出来ました事、ガバナーはじめ地区危機管理委員会の皆様、特に伊勢原ロータリークラブIM実行委員会の皆様、そして第7グループ会員の皆様、厚く御礼申し上げます。





『第5グループ IM報告』

第5Aグループ ガバナー補佐
大隈 秀仁
 (相模原ニューシティRC)



第5Bグループ ガバナー補佐
杉崎 信一
 (相模原南RC)

2023年6月4日(日)、相模原けやき会館「大樹の間」にて、相模原柴胡ロータリークラブをホストクラブとして、本村賢太郎相模原市長をお招きし、約4年ぶりにインターシティミーティング(以下IM)を開催致しました。

今回のIMのテーマは「若者の未来と、ロータリークラブの役割」、サブタイトルは「夢～光あるうちに光の中を走れ～」とし、RYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)を前日の6月3日(土)に開催、そして、その翌日にIMを迎えました。IMには、RYLAセミナーに参加した26名の若者たちも参加し、ロータリーへの理解をさらに深めていただきました。

IM当日は、桐生IM実行委員長の開会の挨拶から始まり、メインとなるトークセッションは、以下の豪華な5名のパネリストを迎え、コーディネーター：田中大助氏(舞台構成・出演、文筆家)、司会：瀧谷憲明氏により進められました。

- ・片山 清宏氏(今年度RYLA講師、市民大学「湘南VISION大学」設立)
- ・鈴木 琢也氏(偏差値30から、世界の名門UCバークレー校卒業)
- ・橋本 幸一氏(ブラジルコリンチャンス元プロサッカー選手)
- ・宮戸 優光氏(元プロレスラー、アントニオ猪木運営会社の元GM)
- ・岩崎健一郎氏(青少年不良文化評論家)

パネリストの皆さんには、これまでの人生におけるターニングポイントや、紆余曲折したことについて語っていただきましたが、皆さんの共通事項は、

がむしゃらに頑張っていた時期があり、若いからこそできる努力をしてきたということです。物事も真剣に突き詰めていくと、それまで積み上げて来たものが後々になって生きてくる。それを自ら体現されてきたパネリストの皆さんのお話は、非常に面白く、刺激的でした。さらに、宮戸氏からは、稀代のスターであるアントニオ猪木氏の物事に対する考え方や、周りにいる人を幸せにする生き方など、貴重なお話しを伺うことができました。青少年不良文化評論家の岩崎氏からは、近年は少子高齢化で青少年犯罪の件数は少なくなっているものの、実は、犯罪比率は上がっていることや、青少年育成に関する課題等について共有いただきました。「今は、子どもは親の背中を見て育つ時代ではなく、子どもが大人を必要としている時には、携帯を弄りながら話を聞くのではなく、いつでも正面から真摯に対峙することが大切。」とおっしゃった岩崎氏の言葉にドキッとした参加者は多かったようです。RYLAセミナーに参加した若者たちにとっても、本トークセッションで語られた内容は、長い人生の中で大いに参考にできる内容であったと思います。

相模原市産業会館で開催された懇親会では、コロナ禍で会えなかった会員と近況を報告し合い、12クラブ対抗ゲームで大いに盛り上がり、最後は4年ぶりに「手に手つないで」を皆で斉唱し、別れがたい時間を過ごすことができました。各クラブの皆様にご心から感謝いたします。

最後に、ホストクラブ相模原柴胡ロータリークラブの皆様にはIM開催が決まり短い時間の中ご尽力をいただき本当にありがとうございました(感謝)。



『クラブ幹事・事務局研修』

地区クラブ管理運営委員会
 副委員長 **蜘蛛 匠**
 (伊勢原平成PC)



皆様、こんにちは！

日頃より地区の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

去る5月13日(土)に、クラブ幹事及び事務局研修を茅ヶ崎市の松下政経塾に於いて実施し、地区内クラブより幹事、事務局の皆様約100名にご参加頂きました。

佐藤ガバナー、田島ガバナーエレクト、松下政経塾遠山塾長にご挨拶頂き、田中地区研修委員長より「研修の重要性とロータリーの歴史」を講演頂きました。

また、地区クラブ管理運営委員会辻委員長より「幹事の責務」、同副委員長の4名より「クラブ支援」、「クラブ交流」「MyRotaryとクラブセントラル」、「規定審議会とクラブ細則」についての説明がありました。最後に佐々木ガバナーノミニの総括により締め括られ2時間の短い時間でしたが内容の濃い研修となりました。

幹事の役割の中には事務局が関わっていることが多くあります。互いにコミュニケーションをしっかりとって活気あるクラブ運営に役立てて頂ければ幸いです。



『これからの会員増強維持を考える。増強サミット2023』 ～ 理屈じゃない、情熱だ!! ～



地区会員増強委員会 委員長 **岩澤 あゆみ**
(茅ヶ崎RC)

松下政経塾を会場に、2023年5月13日(土)13時30分から16時、会長エレクト、次年度クラブ増強担当、ローターアクトクラブ、AG、AGE、地区委員会委員長など、100名を超える参加を頂き、次年度向け会員増強セミナーを開催致しました。

第1部 増強サミット2023 「成功クラブから学ぼう」/「多様性のあるクラブとは～クラブの未来に希望を生み出そう」

パネリスト：	三浦ロータリークラブ会長	奥山 浩司
	三浦ロータリークラブ増強委員長	二塚 雅則
	藤沢南ロータリークラブ会長	木本己樹彦
	第3グループアシスタントガバナー	永松 秀行 (藤沢南RC)
進行：	地区会員増強委員会 委員長	岩澤あゆみ (茅ヶ崎RC)
	地区会員増強委員会 副委員長	黒川 真 (ふじさわ湘南RC)

今年度はどのクラブも活動が戻り、積極的に会員増強・維持に努められています。その中でも、クラブ会員数が29名から59名と会員増強に成功をされた三浦ロータリークラブさんからは、増強することがマストではなく、楽しくなっている。「幸せの黄色い封筒」に常にクラブの活動紹介や入会申込書を入れて、持ち歩いていると成功の秘訣をお話し下さいました。そして、かつて藤沢南RCに所属していたが、残念ながら退会されていた会員さんがみなチャーターメンバーとなって、衛星クラブを設立出来たとお話しをお聞かせくださったのは藤沢南RCさん。会場からも多くの質問が飛んできたのがこの衛星クラブについてでした。今後、会員増強・維持を考える上で、非常に良い一つの手段になるのではないかと可能性も感じました。

第2部 「次年度地区会員増強・拡大維持委員会からのPR」

次年度地区会員増強・拡大維持委員会 委員長	山田 嗣 (鎌倉中央RC)
次年度地区会員増強・拡大維持委員会 副委員長	永松 秀行 (藤沢南RC)

第3部 「情熱対談」(50分)

対談：ガバナー	佐藤 祐一郎
地区会員増強委員会 委員	上田 博和 (小田原城北RC)
地区会員増強委員会 委員	鈴木 義隆 (座間RC)
進行：地区会員増強委員会 委員長	岩澤あゆみ (茅ヶ崎RC)
地区会員増強委員会 委員	高橋 建二 (平塚RC)

佐藤ガバナーの1年の振り返りともに、「質は量に転化しないが、量は質に転化します!!」「組織継続のための拡大じゃなく、仕事で得た利益など社会に還元出来る場所がロータリーだと思う」とマイクを持って立ち上がったの上田委員からのメッセージ。スタートは親睦であっても、シンプルにその地域をよくしたい人たちが一人でも多い地域の方がいいよね、そのためのロータリー。自分さえよければという人が多い時代だからこそ、ロータリー!!と情熱的なセッションになりました。また、今回の出席者には大ベテランの会員さんも多く、その方達が次年度クラブの会長や増強委員長をされることとなります。それに関して、横須賀南西ロータリークラブさんのお話を紹介。今年82歳になるクラブの菅原増強委員長が、「クラブの5年後、10年後が見たくなった。今年5人入れる」と宣言され、本当に5名入れたのだというお話しを。よく若い会員がロータリーの未来だ、と言うけれど、大ベテランの先輩方が次年度のクラブを盛り上げて行こうとされる姿こそがロータリーの希望だと思ったと涙ながらの話には、会場でちらほらもらい泣きの姿もありました。

これから始まる新年度に向けて、考えるきっかけとなるセミナーとなっていたら幸いです。ご参加頂いた皆様、本当にありがとうございました！



『姉妹地区 第3662地区・地区大会に参加して』

第2780地区と姉妹地区締結している第3662地区 濟州島の地区大会が、濟州市ホテルにて5月15日夕刻RI会長代理歓迎晩餐会、5月16日、西帰浦市コンベンションセンターにて地区大会が開催され、今回姉妹地区締結にご尽力された元RI会長 李東建様、当地区から元RI理事小沢一彦様が出席され盛大に執り行われました。RI会長代理歓迎晩餐会では小沢一彦様が姉妹地区発足の経緯を含めた祝辞を述べられ、佐藤祐一郎ガバナーは金慶蘭総裁に促され、アトラクションの舞台上で皿回しの曲芸を見事にこなされ、会場から万雷の喝采を浴びていました。



RI会長代理歓迎晩餐会元RI理事小沢一彦様 佐藤ガバナー祝辞

第3662地区大会は日本の地区大会とは少し趣の違う、明るいお祭りのような雰囲気、佐藤祐一郎ガバナーのハングル語を交えた挨拶は、濟州島の会員から心の籠った拍手と喜びの歓声に包まれておりました。



濟州空港前のトルハルバンの前

午後からはエクスカッションがあり、観光地の中文大浦柱状節理帯（標高1950m世界遺産の漢拏山^{ハルラサン}の噴火の溶岩が流れて出来た柱状の岩壁）に参りましたが、生憎の霪^{もや}で見学すること叶いませんでした。しかし西帰浦市は韓国唯一ミカンの産地（その苗木は日本からのもの）で、出店で購入して食した会員一同は、甘くて旨い一言でした。

《日韓懇談会》

17日朝には日韓懇談会があり両ガバナーから現況報告、また今後の活動実施計画について、両ガバナーエレクトから意見交換がおこなわれました。



日韓懇談会に参加者した皆様（2780地区から21名参加）

小沢一彦元RI理事（横須賀RC）
 佐藤祐一郎ガバナー（津久井中央RC）/佐藤裕見子（令夫人）
 小佐野圭三PDG（横須賀RC）/山地裕昭PDG（足柄RC）
 後藤定毅PDG（大和中RC）/佐野英之PDG委員長（秦野RC）
 田島 透PDG（ふじさわ湘南RC）
 田島敏久GE（相模原西）/田島富美子（相模原西）
 杉崎信一AG（相模原南RC）
 森田正紀地区幹事（津久井中央RC）/大河原幸夫（相模原西RC）
 中村眞英（伊勢原平成RC）/根岸君代（平塚北RC）
 関口直美（平塚湘南RC）/山谷洋子（秦野名水RC）
 郭根男（秦野RC）/中村辰雄（相模原南RC）
 北村まり子（秦野名水RC）/矢端雅子（小田原RC） 敬称略



文化交流会風景

文化交流会は「女性会員文化交流」の一環として、韓国伝統音楽のほとんどのジャンルで使用される「チャング」という打楽器演奏体験することができました。韓国独特のリズムで奏でる楽譜の説明を聴きながら稽古場で習い、私たちは即興で習った打楽器で演奏し、お互いの友好を続けてゆくことを汗ばみながら笑顔で誓い合いました。

異文化に触れて実地体験できた貴重な地区大会及び文化交流の思い出に残る旅でした。

（記事：第5Bグループガバナー補佐 杉崎信一）

『メルボルン国際大会に参加して』

メルボルン国際大会推進日本チーム

リーダー 田中 賢三

(茅ヶ崎RC)



「イマジン ネクスト」を合言葉に、ロータリーの今までやって来たことを顕彰し、ロータリーの未来の可能性を切り開くという意味を持ったロータリー国際大会でした。国際大会は世界のロータリーの活躍を理解し、ロータリーの会員であることを誇りに思い、会員や家族の絆を強固にし、視野を広めるなど等、一年一度の大きな機会であり、会員の特権でもあります。

メルボルンの世界の登録者は12816人と公式発表がありました。日本からは1500名弱、2780地区からは約70名でした。日本の参加者は米国と開催国オーストラリア（ほぼ同数2800名）に次ぐ堂々の3位で、4位フィリピン、5位台湾（ほぼ同数800名）、6位インド500名、7位韓国450名でした。

5月28日の開会式は全豪オープンテニスのアリーナで開催されました。ジェニファー会長は世界のロータリーの奉仕活動を実際に現地で体験し、その素晴らしさに感動し、ロータリーを誇りに思うと話され、会場のロータリアンと世界の平和のために行動しているロータリーの心を共鳴し合うことが出来ました。135か国の国旗の行進、アトラクションのコーラスグループ THE TERORS（カナダ）も会場との一体感に

包まれ、会場の中はステージの上も客席も満足感で笑顔があふれていました。

佐藤芳郎国際ロータリー理事主催、日本人親善朝食会は同じ日の朝に開催（会場はフェデレーションスクエア）、メルボルン領事、メルボルン日本商工会議所、国際ロータリー役員などがゲスト参加され、470名で早朝7：00より賑やかに親善交流が出来ました。

2780地区ナイトは佐藤祐一郎ガバナー主催でビクトリアホテルで開催、約50名の参加で地区内の素晴らしい交流の機会となり賑やかに開催されました。とにかく5月28日は以上3つの主要行事が詰まっている国際大会旅行のクライマックス、参加の皆様、大変お疲れさまでした。また一方ならぬお世話になりました小沢一彦元RI理事、佐藤ガバナー、田島敏久ガバナーエレクト兼オンツーマルボルン委員長始め、参加された皆様に心より感謝致します。

小沢一彦元RI理事のチームは24名参加でニューカレドニア観光もあり、南十字星に平和の願いを込めることが出来、本当に楽しく有意義な国際大会参加旅行となりました。次年度シンガポールも大勢で行きましょう。



『RYLAセミナー報告書』

R Y L A 委員会

 委員長 **清水 寿人**

(相模原柴胡PC)



久保田年度に立ち上げられたが、コロナによる影響で3年越しの開催となった1泊2日のRYLAセミナーが6月3・4日に行われました。受講生26人・ロータリアン40人・講師2名、そして20年ぶりのRYLAセミナーの為お手伝いに当地区に悪天候の中、駆け付けて頂いた国際ロータリー第2680地区の黒田建一様を初めとします2670・2680地区RYLA学友4名総勢約70名で盛大に開催することが出来ました。

初日の午前NPO法人湘南ビジョン研究所理事長の片山氏・午後よりJAXAの宇宙機応用工学研究系准教授尾崎直哉様よりそれぞれ体験談による「志」についてのご講演を頂きました。そして夕刻に予定しておりました黒田様による「次世代のリーダーシップ」についての講義は悪天候による交通機関の乱れで到着が遅れ翌日に予定変更、久保田PGと小川RYLA委員による卓話で事無きを得ました。夕食後各班に分かれ次世代のリーダー論について深夜遅くまで語り明かしました。

各班には委員会メンバーにファシリテーターとして2名・2680地区RYLA学友がお手伝いとして1名が付き班の全員からの意見を聞き出す

進行役を行なってもらいました。委員の皆さんは初めての事でしたが朝から夜中まで受講生たちと行動を共にし、良きアドバイザー的な存在を発揮できた1日目は修了。翌朝8:00より黒田様の講義を聞きその後、昨日のまとめ「真のリーダー」について班ごとに全員で発表してもらいました。

JAXA施設の見学、昼食後に第5グループIMに参加し「若者の未来と、ロータリークラブの役割」と題しパネリストを迎えてのディスカッションに参加し、1泊2日のセミナーは終了しました。

今回のRYLAセミナーのテーマ「未来を創る青年の役割」受講生たちはどう感じ取ってくれたかよりも20年ぶりに開催できたことが良かったと思います。出来なければ受講生たちの人生が変わるかもしれないという種まきすらなかったと思います。今回のセミナー経験を活かし、次年度にそして未来に繋げて頂ければ幸いです。

今回開催にあたり多くの皆様にご理解ご協力頂いたことに感謝し、2022～2023年度国際ロータリー第2780地区RYLAセミナーの報告とさせていただきます。ありがとうございました。



『青少年交換派遣候補生 出発前一泊研修』

青少年交換委員会
委員長 **新井 智代**
(藤沢南RC)



青少年交換プログラムでは去る6月17日～18日に、選考より毎月1回続けてきた派遣生オリエンテーションの最後となる一泊研修を緑豊かな埼玉県「小川元氣プラザ」にて行って参りました。今年はインバウンド（来日生）がまだいないため、アウトバウンド（派遣生）のみでの開催です。そこで派遣生として選ばれた同志ともいえる仲間たちと団結し「記憶に残る」2日間を体験して欲しいと、野外炊飯・キャンプファイヤー・ダンスレッスンなどメニューは盛り沢山となりました。青少年交換委員会からは3名、ROTEX 5名、応援にかけつけてくださったロータリアン1名にダンス講師1名が随行しましたが、何とんでもこの研修中は「派遣生が主役」です。「やってもらうのを待つ」のではなく、学生一人一人が仲間のために「どれだけ積極的に動けるか」に挑戦してもらいました。

幸い好天に恵まれた初日、キャンプ場へ向かう前に立ち寄った長瀨では観光に加え「うどん打ち」も体験しました。自分たちで作った美味しいうどんで力をつけた後、キャンプ場へ移動。宿泊はバンガローとなりましたが、集合担当、夕食カレー担当、飯盒炊飯担当、キャンプファイヤー担当、朝食担当、などに別れて学生主体で動きました。火起こしはもちろん、食材を切ることも調理することも決して慣れ

ているわけではありませんが、それぞれが一生懸命に取り組みました。自分たちで調べ学び動く、工夫するそしてまた動く…そうやって完成した夕食を囲む全員の笑顔は最高でした。自分たちで組み上げたキャンプファイヤーを囲み夜遅くまで仲間と語り合ったことは「記憶に残る」ひとときであったことでしょう。体験の積み重ねを自信に変えて、海外で待ち受ける困難を乗り越えて行ってくれることを期待しています。

2日目は場所を体育館に変え、講師を招き全員で2時間みっちりダンスを練習しました。第2780地区の青少年交換プログラムのプロモーション動画作成のためのレッスンです。午後の撮影ではドローンも飛ばしていただきました。どこまで団結力を表現できたかどうぞ皆様動画の完成をお楽しみに！

青少年交換プログラムは高校生の1年間の海外留学プログラムです。15歳～18歳、この未熟で多感な時期にだからこそ得られる感動が彼らのその後の人生に大きな影響を及ぼします。約8か月の研修を終え2023年夏、いよいよ海外へと旅立ちます。

ホストクラブ・カウンセラーの皆様へ改めて感謝申し上げますとともに、親善大使としての彼らの活躍にどうぞロータリークラブ会員の皆様の応援をいただけますようお願い申し上げます。



米山功労者一覧

(2022年7月1日～2023年6月30日)

第1グループ

◆米山功労者

横須賀	中村 正	第1回
	濱田 恵里	第1回
	加藤 淳	第1回
	猿丸 新二	第1回
	角井 駿輔	第1回
	加賀本好美	第1回
	杵渕 哲也	第1回
	松本 明弘	第1回
	岩崎 次郎	第1回
	木村 一郎	第1回
三浦	石崎 勇吾	第1回
横須賀南西	赤木慎一郎	第1回

◆マルチプル

横須賀	曾我 宗光	第2回
	鈴木 豊司	第2回
	小山 陽生	第2回
	岡田 英城	第4回
	外木 祥司	第4回
	澤田 菊江	第4回
	五十嵐俊男	第5回
横須賀西	長島 澄雄	第3回

◆メジャードナー

横須賀	波島 顕明	第15回
	佐久間博一	第30回
	長尾 和典	第35回
	小沢 一彦	第68回
横須賀北	福嶋 義信	第14回

第2グループ

◆米山功労者

鎌倉	細谷 勝	第1回
	井上米輝子	第1回
逗子	桐田 吉彦	第1回
	河野征一郎	第1回
	横山 健	第1回
鎌倉大船	西村 延容	第1回
	小山 和秀	第1回
鎌倉中央	跡部 明男	第1回

◆マルチプル

鎌倉	後藤 圭子	第2回
	浜田 淑子	第5回
	山本 賢二	第5回
	佐藤美智子	第9回
逗子	白井 浩	第2回
	菊池 尚	第3回
鎌倉大船	林川 徹	第4回
鎌倉中央	山田 嗣	第5回

第3グループ

◆米山功労者

藤沢西	駒井 洋之	第1回
	松尾 英明	第1回
藤沢東	梶浦 暁	第1回
	高橋 正宏	第1回
	上堀美智子	第1回
藤沢南	大和田章夫	第1回
ふじさわ湘南	黒川 真	第1回
	内海 雅文	第1回
	長岡 寛一	第1回
かながわ湘南	小尾優美子	第1回

◆マルチプル

藤沢	椋梨 兼彰	第2回
	大野木加代子	第2回
	瀧澤 秀俊	第3回
	山川ふみ子	第4回
	和田 庄治	第5回
藤沢西	加藤 英夫	第6回
藤沢東	石田 能治	第2回
	須藤 修司	第2回
藤沢南	川島 進	第2回
	栗原 義夫	第2回
	後藤 康太	第2回
	木本己樹彦	第3回
	青木小四郎	第6回
ふじさわ湘南	吉田 和	第2回
かながわ湘南	柚木 裕子	第5回
アーカス湘南	原 いづみ	第3回

◆メジャードナー

ふじさわ湘南	田島 透	第13回
--------	------	------

第4グループ

◆米山功労者

綾瀬	堀口 淳二	第1回
茅ヶ崎	橋本 正一	第1回
	小澤 雅彦	第1回
	大竹 孝一	第1回
	木村 邦佑	第1回
	安武 勝	第1回
寒川	島村 盛品	第1回
	若菜 勝美	第1回
	中野 雅之	第1回
茅ヶ崎湘南	吉田 大亮	第1回
	海上 勇樹	第1回
茅ヶ崎中央	高山 正男	第1回
	一杉 直樹	第1回

◆マルチプル

茅ヶ崎	和田 幸男	第3回
	山口 利通	第6回
寒川	山口 哲	第2回
	金子 一茂	第2回
	秋本 茂雄	第3回
	椎野 千夫	第3回
	菊地 良夫	第6回
茅ヶ崎湘南	赤間 芳陽	第2回
	武田 正己	第2回
	藤井 範久	第2回
	三堀 満	第7回
茅ヶ崎中央	松宮 剛	第9回
	湯山 文夫	第3回
	當間 安弘	第4回
	佐々木保博	第6回
	沼上 憲雄	第6回
	山口洋一郎	第6回
綾瀬春日	笠間 昇	第2回
	笠間正二郎	第3回

◆メジャードナー

茅ヶ崎	田中 賢三	第19回
-----	-------	------

第5Aグループ

◆米山功労者

相模原	新倉 裕	第1回
	中村 太郎	第1回
	竹内 健	第1回
	水野 仁	第1回
	山本 忠典	第1回
相模原グリーン	北島 直輝	第1回
	金子 英行	第1回
相模原西	加藤 哲	第1回
相模原橋本	高宮 剛	第1回

◆マルチプル

相模原	伊藤 孝仁	第3回
	山口 紀生	第3回
	宮崎 哲朗	第3回
	松田 壯吾	第7回
	磯崎 嘉徳	第8回
相模原グリーン	水谷里枝子	第2回
	長谷川太一	第2回
	井上 栄次	第4回
	福山 茂	第6回
	守屋 護	第7回
	山本 正司	第8回
相模原西	青塚 淳次	第2回
	中原 貴志	第2回
津久井中央	吉野 賢治	第4回
	小山 里枝	第6回
相模原橋本	相澤 宏紀	第2回
	萩原 義久	第3回

◆メジャードナー

相模原	杉岡 芳樹	第45回
相模原グリーン	尾畑 仁貴	第18回
相模原橋本	原 幹朗	第53回

第5Bグループ

◆米山功労者

相模原南	小林大二郎	第1回
	江田 昌弘	第1回
	須坂 知恵	第1回
	黒河内彰子	第1回
相模原中	阪西 貴子	第1回
	河野 崇	第1回

◆マルチプル

相模原南	一ノ瀬 裕	第2回
	徳久 京子	第3回

青木	亜也	第3回
栗林	一郎	第9回
相模原中	中里 和男	第3回
	小野 孝	第7回
	田野 毅	第8回
相模原東	中村 礼二	第4回
相模原柴胡	清水 寿人	第2回

第6グループ

◆米山功労者

海老名	中村 盛幸	第1回
	小野塚政洋	第1回
海老名樺	橋場 大助	第1回
	後藤 礼子	第1回
	能勢 健一	第1回

◆マルチプル

厚木	和田 勝美	第2回
厚木	常磐 重雄	第3回
大和	本田 誠一	第2回
	古川 毅	第3回
座間	真鍋 藤正	第7回
	磯部 雅文	第2回
大和中	磯部 芳彦	第4回
	北砂 明彦	第2回
	辻 彰彦	第2回
	入江 公敏	第3回
厚木中	後藤 定毅	第8回
	笹生 誠	第3回
	飯田 久夫	第7回
	山崎 隆夫	第7回
大和田園	小林 貢	第3回
	古木 哲夫	第8回
海老名	佐藤みゆき	第2回
	高橋 裕之	第2回
	小川 治夫	第3回
	小松 正道	第3回
	塩脇 憲一	第3回
	高橋 晃	第8回
海老名樺	小川 満	第2回
	青木 仁	第2回
	三部 昭一	第5回
	川島 俊郎	第5回
	浅岡 康雄	第5回
厚木中央	武藤 元秀	第2回
	和田 貴樹	第2回
	山口 昌興	第2回
	山田 幹男	第3回
	松本 豊	第4回
	村松マユミ	第4回
本厚木	菅沼 浩一	第2回
	鈴木八四郎	第2回
	内田 清	第6回

◆メジャードナー

厚木	本多 正彦	第11回
大和	古木 通夫	第23回

第7グループ

◆米山功労者

秦野	和田 洋子	第1回
	外谷 正人	第1回
伊勢原	沼田 謙治	第1回
秦野中	渡辺 紀之	第1回
伊勢原中央		

◆マルチプル

秦野	高橋 滋樹	第2回
	高橋 貴美子	第2回
	関野 道弘	第4回
	栗原 和子	第6回
	石橋 道広	第6回
伊勢原	小泉隆一郎	第2回
	東 学	第3回
秦野中	佐藤 敏夫	第5回
	柳川 賢治	第5回
	高橋 勇	第5回
	関野 恵雄	第6回
	守山 文夫	第7回
	武 功	第7回
	石井 通生	第8回
伊勢原中央	柳川 正男	第2回
	坂本 秀美	第5回
秦野名水	鈴木 和夫	第2回
	東島 礼美	第2回
	桐山 晃忠	第3回

◆メジャードナー

秦野	野竹内 万也	第11回
	伊勢原 松下 孝	第13回
	秦野 中 小野良太郎	第48回
	秦野 名水 原 郁夫	第12回

第8グループ

◆米山功労者

二宮	大岩 園子	第1回
	山内みどり	第1回
	加藤 哲也	第1回
平塚西	小網 嘉則	第1回
平塚湘南	川内美喜男	第1回

◆マルチプル

平塚	成瀬 正夫	第4回
	升水 一義	第8回
平塚西	荒井 義光	第4回
	吉川 寛巳	第8回
平塚湘南	牧石 健志	第8回
	高橋 烈雄	第8回

◆メジャードナー

平塚西	山田 雅孝	第29回
-----	-------	------

第9グループ

◆米山功労者

小田原	佐藤 良知	第1回
	竹田 幸俊	第1回
湯河原	佐藤 友彦	第1回
箱根	角山 俊夫	第1回
小田原城北	須賀 朋之	第1回
	富田浩一郎	第1回
小田原中	山室 喜信	第1回

◆マルチプル

小田原	杉崎 克康	第2回
	大田和俊彦	第3回
	神戸 和男	第5回
湯河原	石川 博	第3回
箱根	杉山 幹雄	第2回
	澤田 君雄	第9回
小田原北	小林 淳一	第2回
	伊東 昌彦	第2回
	奥山 恵子	第4回
	中谷 元士	第4回
小田原中	内田 治光	第4回
	飛鳥井従道	第5回
	小林 泉	第8回
足柄	勝又 辰美	第5回

◆メジャードナー

小田原北	中村 健作	第37回
------	-------	------

功労クラブ

横須賀	第85回
鎌倉	第57回
逗子	第27回
藤沢	第38回
藤沢西	第19回
藤沢南	第19回
茅ヶ崎	第46回
綾瀬	第37回
茅ヶ崎中央	第25回
綾瀬春日	第14回
相模原	第42回
相模原グリーン	第25回
相模原橋本	第8回
津久井中央	第26回
相模原南	第34回
相模原西	第25回
座間	第19回
大海老	第30回
名譽	第28回
海老名樺	第17回
厚木	第18回
秦野	第45回
伊勢原	第29回
秦野	第46回
平塚	第33回
平塚湘南	第18回
平塚原	第39回
湯河原	第9回
箱根	第21回
小田原北	第40回
小田原城北	第38回
小田原中	第32回

R 財団寄付者一覧

(2022年7月1日～2023年6月30日)

アーチ・フランチ・ソサエティー

横須賀 小沢 一彦
相模原西 田島 敏久
田島富美子

大口寄付

横須賀 長尾 和典
相模原 杉岡 芳樹 (2回)
津久井中央 具 尚禮
相模原ニューシティ 大隈 秀仁
相模原おださが 野々山英樹
厚木県央 石井 卓
秦野中 小野良太郎
平塚西 山田 雅孝
平塚湘南 関口 直美

メジャードナー

鎌倉 佐藤美智子 L1
逗子 矢部 房男 L1
茅ヶ崎 木村 信一 L1
津久井中央 具 尚禮 L1
相模原ニューシティ 大隈 秀仁 L1
厚木 前田 賢一 L1
大和中 高橋 清 L1
厚木県央 石井 卓 L1
秦野中 小野良太郎 L1
平塚湘南 関口 直美 L1
鎌倉 久保田英男 L2
茅ヶ崎湘南 脇 洋一郎 L2
相模原 杉岡 芳樹 L4

ボール・ハリス・ソサエティー

横須賀 小沢 一彦
鎌倉 菅原 光志
久保田英男
ふじさわ湘南 相澤 光春
田島 透
かながわ湘南 高木 直之
原 千草
柚木 裕子
茅ヶ崎 田中 賢三
茅ヶ崎湘南 松宮 剛
脇 洋一郎
相模原 杉岡 芳樹
津久井中央 佐藤祐一郎
相模原南 大谷新一郎
相模原西 田島 敏久
田島富美子
相模原柴胡 鹿島 敏裕
相模原かめりあ 鎌田えり子
秦野 竹内 万也
佐野 英之
伊勢原 松下 孝
秦野中 小野良太郎
秦野名水 原 郁夫
平塚 升水 一義
平塚西 山田 雅孝
足柄 柄 山地 裕昭

ポリオプラス・ソサエティー

鎌倉 久保田英男
林 雅巳
茅ヶ崎中央 當間 安弘
綾瀬春日 笠間治一郎
相模原 杉岡 芳樹
津久井中央 佐藤祐一郎
小山 里枝
相模原ニューシティ 大隈 秀仁
相模原南 杉崎 信一
厚木中 藤川 孝幸
伊勢原 松下 孝
箱根 上野 裕
美穂 美穂

ベネファクター

横須賀 前田 長生
逗子 徳永 淳二
藤沢 廣島 純
藤沢東 高橋 正宏
藤沢北西 伊澤 孝次
藤沢南 木本己樹彦

かながわ湘南 奥 和子
寒川 森嶋 洋子
茅ヶ崎湘南 城田 英昭
相模原 伊藤 孝仁
相模原西 大河原幸夫
相模原かめりあ 鎌田えり子
厚木中 佐々木尚壽
秦野 三嶽 聖
伊勢原 東 学
秦野中 高橋 豊一
秦野名水 鈴木 和夫
平塚 牧野 國雄
平塚 清水 雅広
平塚西 齋藤 宙也
平塚湘南 小沢 博
小田原 高野 久男
小田原北 小林 淳一

ボールハリスフェロー

横須賀 角井 駿輔
三浦 佐藤 周一
山本 達樹
横須賀南西 瓜生 勝彦
葉山 隈本源太郎
鎌倉 浅場 智彦
逗子 田耕 邦子
鎌倉中央 橋本はづき
藤沢 岩崎 智子
小澤 智幸
下野多佳子
杉原 栄子
鈴木 大次
吉川 栄紀
藤沢西 松尾 英明
藤沢東 入澤 初子
田村 進
藤沢南 長谷川正明
ふじさわ湘南 飯野 貴之
三浦 悠介
茅ヶ崎 細井 年春
岩井 泰
寒川 中野 雅之
島村 盛晶
若菜 勝美
堀内 岳
茅ヶ崎湘南 山本 義治
茅ヶ崎中央 山田 悦子
相模原 藤田 寛之
川合 靖一
宮下 哲太朗
森 正雄
竹内 健
相模原グリーン 足立 正
相模原ニューシティ 石口 美子
相模原南 江田 昌弘
黒河内彰子
中島 信義
中山 智晃
須坂 知恵
相模原中 横江 利夫
相模原東 平野 光英
厚木 金井 良雄
高橋 伸一郎
大和中 野口 宏
海老名 橋場 友一
海老名樺 後藤 礼子
橋場 大助
厚木県央 花上 滋
松澤 修二
立脇 孝二
本厚木 星野 卓司
秦野 和田 洋子
山口 太郎
伊勢原 加藤 桂
小山 博正
奥谷 泰永

平塚 秋山 智
大島 圭吾
鈴木 成一
山口 紀之
山本 恵
大磯 桜川 誠
二宮 成川 厚
平塚西 伊藤 和彦
箱根 勝俣 智行
勝俣 和久
杉山 秀司
田中 久士
田野上 勇人
小田原北 小林 淳一
小田原中 芦川 義直
杉山 達哉

マルチプル・フェロー

横須賀 椿 和香 M1
福西 美子 M2
八巻 敏博 M2
吉田 清 M2
波島 顕明 M3
ロジャース エラ M4
浅場 智彦 M4
佐久間 博一 M1
片平 修一 M1
山田 秀雄 M2
横須賀西 嘉山 賢 M5
長島 澄雄 M5
落合 伸一 M5
坂倉 真人 M5
高橋 己幸 M5
小池 克彦 M6
和田 光弘 M7
永井不士男 M5
横須賀南西 岩澤 資泰 M1
宮本 英光 M2
中込 仁志 M2
横山 英夫 M2
石渡 徳一 M3
佐藤美智子 M8
鈴木 安之 M4
中村 昌治 M2
林川 徹 M3
仲村 裕之 M3
奥山源一朗 M1
山田 嗣 M5
大小原 徹 M1
日比野 強 M2
廣島 純 M2
岡崎久子 M5
相澤 康幸 M1
大澤 宏 M1
端山 創之 M2
原田 武司 M6
豊島 亜彦 M6
中島 繁 M5
平綿 敏郎 M5
新井 智代 M1
芝 直也 M1
深井 正道 M2
木本己樹彦 M3
大澤 尚武 M3
相原 利夫 M5
ふじさわ湘南 中田 隆之 M1
大澤 伊知郎 M1
坂本 直樹 M1
奥 和子 M3
半田 朋子 M1
岩澤あゆみ M1
加瀬 義明 M1
水嶋 聡 M1
椋梨 晴喜 M1
中山富貴子 M1
三橋 剛久 M1
杉田 祐一 M1
小澤 雅彦 M2

澤邑 重夫 M2
亀井 信幸 M3
吉田 恵子 M3
河本 啓伸 M4
和田 幸男 M5
木村 信一 M8
井上 晋一 M1
村松 一 M1
清水 功 M2
石塚 雄司 M3
入澤 章 M4
菊地 良夫 M4
椎谷 敏行 M4
土橋 恒一郎 M2
峰尾 四郎 M5
高橋 孝司 M5
笠間 茂治 M6
斎藤 敬訓 M7
茅ヶ崎湘南 佐藤 昭人 M1
矢野 嘉哉 M1
藤井 範久 M2
加藤 盛久 M4
原田 進 M5
大村日出雄 M6
松宮 滋子 M8
茅ヶ崎中央 神尾 元洋 M1
當間 安弘 M4
石田 忠勝 M5
笠間治一郎 M2
通所 好男 M2
笠間 博幸 M3
武田 敬 M3
塚原 吉雄 M3
阿部 邦彦 M1
伊藤 孝仁 M2
宮崎 哲朗 M2
成川 猛 M2
川井 俊幸 M4
根岸 信行 M4
磯崎 嘉徳 M6
相模原グリーン 神座 磯男 M3
中村 昌治 M3
福山 茂 M5
津久井中央 杉本 信一 M2
小川 洋一 M4
具 尚禮 M8
相模原橋本 相澤 宏紀 M1
原 正弘 M1
萩原 義久 M6
相模原ニューシティ 大隈 秀仁 M8
相模原南 中村 文子 M1
青木 亜也 M2
溝渕 真澄 M2
松井 克之 M3
山田 修 M3
杉崎 信一 M5
岩本 勉 M6
宮崎雄一郎 M8
相模原中 黛 裕治 M2
阿部 毅 M4
川合 貞義 M4
小野 孝 M6
竹田 繁 M6
相模原西 本間 健士 M1
金山 茂雄 M1
唐津 昇 M1
大河原幸夫 M1
平井 隆 M2
秋森 三男 M3
草薙 喜義 M3
鈴木 豊 M6
田島富美子 M7
森住 等 M1
三橋 一皓 M6
西島 洋一 M6
米山 尚登 M6

前田 賢一 M8
本田 誠一 M1
富岡 弘文 M4
長谷川 衛 M5
磯部 芳彦 M3
石川 達男 M1
藤田 方己 M6
厚木中 建部 覚 M4
西 厚夫 M6
大和田園 小島 政滋 M2
樋田 修 M3
古木 明夫 M6
海老名 高橋 晃 M6
海老名樺 青木 仁 M1
本多 緑子 M1
本井 公浩 M1
篠原 康史 M1
辻 啓明 M1
長浦 文夫 M3
厚木県央 新川 勉 M2
石井 卓 M8
本厚木 菅沼 浩一 M1
秦野 佐藤 達也 M1
高橋 貴美子 M1
三嶽 聖 M3
玉木 茂 M3
山口 宏 M4
秋山 純夫 M5
高橋 泉 M5
伊勢原 濱尾ゆかり M1
東 学 M1
田中 徹 M1
須藤 宣弘 M2
荒巻 哲朗 M4
秦野中 田原 猛 M3
山口 恭弘 M4
守山 文夫 M5
高橋 元治 M5
矢野 一博 M6
小野良太郎 M8
伊勢原中央 熊澤 美代子 M1
秦野名水 淵脇美代子 M3
諸星 道治 M3
伊勢原平成 宮本 佳昭 M2
高橋 宏昌 M2
小立 兵一 M4
山田 輝彦 M4
竹内 達夫 M4
中村 眞英 M7
平塚 升水 一義 M4
福澤 正人 M5
平塚北 菊谷 政夫 M1
平塚湘南 田中 敏恵 M1
細野 光生 M3
井出 隆夫 M4
芦川 浩 M5
関口 直美 M8
小田原 加藤 芳雄 M2
高田 喜好 M4
湯河原 深澤 昌光 M2
伊藤 伸之 M6
箱根 宮地 博篤 M1
鶴巻 美樹 M1
今田次郎 M4
小田原北 伊東 昌彦 M1
奥山 恵子 M3
柴田 直明 M3
瀬戸 北丈 M6
小田原城瀬 小川 裕 M1
小田原中 大林 英樹 M2
村上 正樹 M3
関口 富夫 M4
豊田 靖 M6
足柄 山本 研一 M1
三浦 敏幸 M3

認証状伝達式

『相模原おださがRC 認証状伝達式』

相模原おださがロータリークラブ

会長 野々山 英樹

(相模原おださがRC)



2023年6月17日(土)、相模原市内のあじさい会館にて相模原おださがロータリークラブの国際ロータリー加盟認証状伝達式、けやき会館にて祝賀会を開催させていただきました。佐藤祐一郎ガバナー、本村賢太郎相模原市長、大崎秀治相模原市議会副議長、小沢一彦元R I 理事、パストガバナーの皆様、地区役員ならびに各クラブ会長幹事の皆様、そして第5グループの皆様にご出席いただきました。

ロータリーに関して何もわからないメンバーで、このチャーターナイトの準備を進めてきました。不安だらけでしたが、杉岡アドバイザー、秋森アドバイザーをはじめ先輩方からご指導をいただいたおかげで無事に終えることが出来ました。ホッとした気持ちとともに皆様には感謝しかありません。本当にありがとうございました。チャーターメンバー32名、6月に1名加入で現在33名、平均年齢48.9歳の創立したてのまだまだ未熟なクラブです。どうぞ2780地区の皆様には末永くご指導ご鞭撻、ご支援ご協力をお願いいたします。


衛星クラブ

『藤沢南ディスカバロータリー衛星クラブについて』

第3グループ

ガバナー補佐 永松 秀行

(藤沢南RC)



藤沢南ディスカバロータリー衛星クラブ（以下：藤沢南DRSC）は、2023年4月12日付でR I 理事会より認可を受け、第2780地区では2クラブ目となる衛星クラブが誕生した。スポンサークラブである藤沢南ロータリークラブの会長と会員とともに、約1年の準備期間を経て、2023年5月17日に藤沢南DRSCの設立総会・設立式を実施することができた。

衛星クラブを結成することで、退会者の呼び戻しや入会したくても入会できなかった方等への声掛けをすることができ、会員増強につなげることができた。また、クラブ、地域、入会（希望）者にも利点がある。地域の人や企業をつなぎ、IDEAの交換と行動を通じてスポンサークラブと協力しながら社会貢献活動や地域支援事業を行うことができる。活動内容や目的はスポンサークラブと同じですが、地域性や活動方法、規模などは自由に設定することができ、例会時間が合わなかったりする様々な職業や奉仕に関心を持つ人に入会の機会を提供できる。



『2780地区ロータリーバンド・コンサート』

2023年6月24日に町田のライブハウスにて「2780地区ロータリーバンド」の初ライブが開催されました。戦略計画委員会（アドバイザー・相澤P G、委員長田島透P G）の懇親会の席での会話の中から生まれたこのバンド。メンバーは、第5 A・大隈秀仁A G（相模原ニューシティ・ドラムス）、三荒弘道米山奨学委員長（平塚・ギター）、岡田英城青少年奉仕委員長（横須賀・キーボード）、細川康治クラブ管理副委員長（大和・ベース）、森田江利子（相模原ニューシティ・ボーカル）、八木達也（横須賀・ギター）、梁井康市（横須賀・バイオリン）。ビートルズの「Imagine」の他、ホイットニー・ヒューストン、セリーヌ・ディオーン、クィーンの曲が演奏されました。当日は多くの地区内ロータリアンが集結し大盛況なライブとなりました。



（文：岩澤あゆみ会員増強委員長（茅ヶ崎・マネージャー） 写真：大川久弥公共イメージ委員長）

22-23 新会員's VOICE 特別編 ローターアクトクラブ&特別編 寒川RC

新会員's VOICE ファイナルは、特別編として2本の動画をUP! 相模原ローターアクトクラブさんと寒川ロータークラブさんのインタビューです。動画はこちらから。過去の動画も観られます。チャンネル登録・動画への「いいね」もお願いいたします! この2年間でインタビューした会員さんは80名以上! ご出演くださった方、そして各クラブの1年間のご協力、本当にありがとうございました!!

<https://youtube.com/channel/UCR2fp4or99NLh-35uFoNdSA>（地区会員増強委員会チャンネル）



地区会員増強委員会
You Tube

新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



よねやま まさひこ
米山 雅彦
①伊勢原中央
②2023. 03. 06
③精麦業
④小西 英昭



あそう たかゆき
麻生 貴之
①伊勢原中央
②2023. 03. 06
③福祉施設
④小西 英昭



おぐら みつまさ
小椋 光政
①相模原ニューシティ
②2023. 05. 01
③電気工事業
④高城 秀之、
古谷 淳史



まつもと けんじ
松本 賢次
①相模原ニューシティ
②2023. 05. 01
③事務機器販売
④高城 秀之、
菊永 雅



せりかわ のぶひさ
芹川 修久
①伊勢原中央
②2023. 05. 08
③飲食業
④立澤 智



あまの だいすけ
尼野 大介
①三浦
②2023. 05. 25
③印刷業
④二塚 雅則

新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



かんだ たかゆき
神田 貴之
①三浦
②2023. 05. 25
③損害保険業
④二塚 雅則



ごとう あつこ
後藤 敦子
①三浦
②2023. 05. 25
③保険業
④藤 太郎



すぎた ひとし
杉田 仁
①三浦
②2023. 05. 25
③不動産管理業
④加藤 隆史



やまもと こうじ
山本 浩司
①三浦
②2023. 05. 25
③水産加工業
④鈴木 淳



はなうえ けんいちろう
花上 建一郎
①藤沢北西
②2023. 05. 25
③土地家屋調査士
④井上 直紀



おがわ けいすけ
小川 圭介
①三浦
②2023. 06. 01
③自動車整備業
④市村 真



まつおか やすとも
松岡 康友
①イノベーション推進
②2023. 06. 01
③建設業
④海野 章



つちや だいすけ
土屋 大輔
①大和中
②2023. 06. 01
③電気工事
④北砂 明彦



きたがき けんいち
北崎 憲一
①小田原中
②2023. 06. 01
③保険業
④高橋 康徳



いしかわ たくみ
石川 巧
①三浦
②2023. 06. 04
③神奈川県議会議員
④加藤 隆史



たかぎ たみや
高木 民也
①三浦
②2023. 06. 04
③小売業
④加藤 隆史



かみじょう ひろゆき
上條 裕之
①三浦
②2023. 06. 06
③廃棄物収集運搬業
④二塚 雅則



ちょうなん みつおり
長南 光紀
①鎌倉
②2023. 06. 06
③サービス業
④長谷川 貴哉



かじやま りょう
梶山 亮
①秦野名水
②2023. 06. 08
③水道工事
④古谷 スミ子



まつい まさき
松井 正樹
①三浦
②2023. 06. 15
③木材小売業
④石崎 勇吾



すずき せいいち
鈴木 誠一
①三浦
②2023. 06. 15
③飲食業
④奥山 浩司



きむら けんこう
木村 健貢
①小田原中
②2023. 06. 15
③宗教(寺院)
④吉澤 芳之



むらたに はるお
室谷 陽生
①綾瀬
②2023. 06. 20
③司法書士、行政書士
④土橋 恒一、堀口 淳二

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2780

2022~2023 Governor

Yuichiro Sato

■OFFICE / Aizawa Bldg. #1, 5F,
22-7-501 Minami-Fujisawa,
Fujisawa-city, Kanagawa
251-0055 JAPAN
Tel: +81-466-25-8855
Fax: +81-466-25-8866



**IMAGINE
ROTARY**

■事務所 / 〒251-0055
藤沢市南藤沢22-7-501 第一相澤ビル5階
Tel: 0466-25-8855
Fax: 0466-25-8866
E-mail: g-office@rid2780.gr.jp
URL: https://rid2780.gr.jp

2022~2023年度ガバナー

佐藤 祐一郎